

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年 6月 15日

青森市長 様

提出者

住 所 青森市大字新町野字菅谷120-9

氏 名 成俊工業株式会社 代表取締役 成田 貴幸

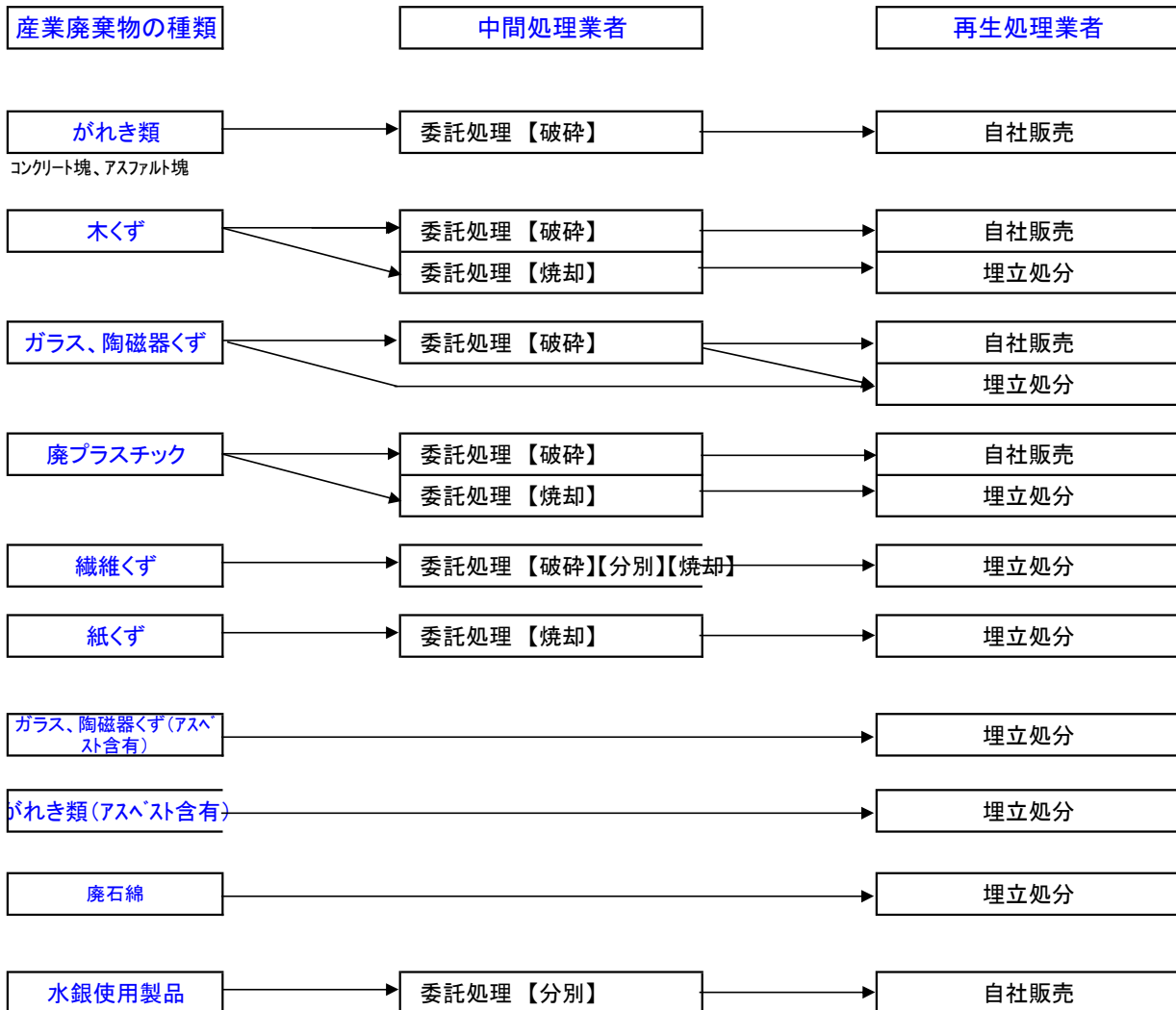
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 017-738-3692

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	成俊工業 株式会社
事業場の所在地	青森市大字新町野字菅谷120-9
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	
③従業員数	18人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1 参照

産業廃棄物処理フローチャート



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2 参照

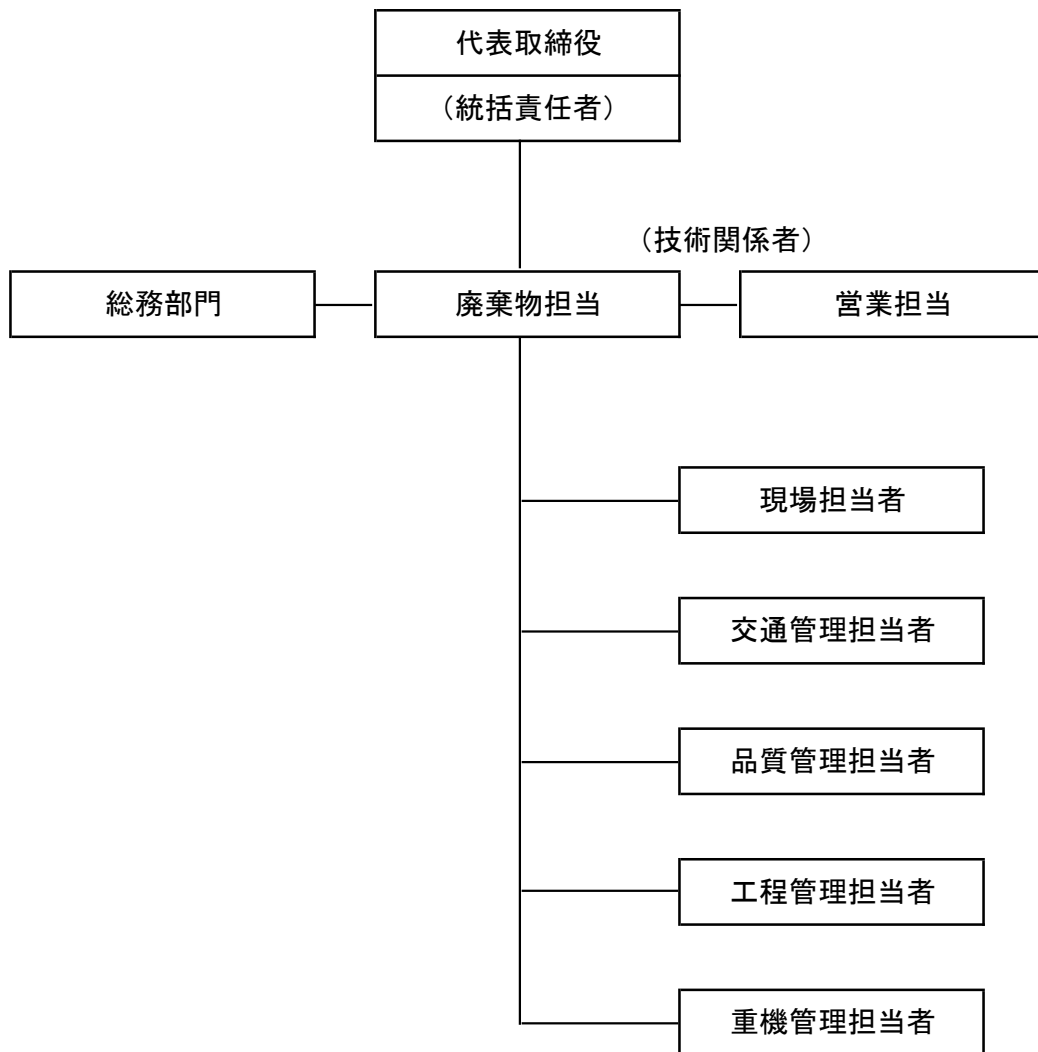
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和 4 年度)実績】		別紙の通り
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		別紙の通り
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

産業廃棄物管理体系図



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	11593.14t	97.42t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス・陶磁器類
	排出量	10.55t	41.82t
	産業廃棄物の種類	水銀使用製品	がれき類(アスベスト含有)
	排出量	0.01t	8.16t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	管理型混合廃棄物
	排出量	5.61t	0.67t
	産業廃棄物の種類	特定有害産業廃棄物 廃石棉等(飛散性)	
	排出量	0.73t	
(これまでに実施した取組) ・各処分品目ごとの分別の徹底 (現場ごとに品目別のストックヤードの設置) ・分別した廃棄物が混合しないようにする			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	1000t	50t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス・陶磁器類
	排出量	5t	10t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	ガラス・陶磁器類(アスベスト含有)
	排出量	1t	1t
	産業廃棄物の種類	水銀使用製品	がれき類(アスベスト含有)
	排出量	0.05t	3t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	特定有害産業廃棄物 廃石棉等(飛散性)
	排出量	2t	0.3t
(今後実施する予定の取組) ・廃棄物の排出量を最小限に抑える工法、資材等を検討し反映させる。			
産業廃棄物の分別に関する事項			
	①現状	・各処分品目毎の分別の徹底 ・再生できるものは分別し、再資源化施設へ搬出 ・整理整頓	
	②計画	・各処分品目毎の分別の徹底 (各品目の集積場所の設置の徹底を行う) ・再生できるものは分別し、再資源化施設へ搬出 (施工手順を明確にする) ・整理整頓 (社員教育により分別・再資源化施設搬出の徹底を行う)	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】 別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全処理委託量	11593.14t	97.42t
	優良認定処理業者への処理委託量	0t	0t
	再生利用業者への処理委託量	11593.14t	97.42t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス・陶磁器類
	全処理委託量	10.55t	41.82t
	優良認定処理業者への処理委託量	0t	2.37t
	再生利用業者への処理委託量	10.55t	26.95t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t
	産業廃棄物の種類	水銀使用製品	がれき類(アスベスト含有)
	全処理委託量	0.01t	8.16t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.01t	6.16t
	再生利用業者への処理委託量	0.01t	0t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	廃石綿
	全処理委託量	5.61t	0.73t
	優良認定処理業者への処理委託量	0t	0.73t
	再生利用業者への処理委託量	5.61t	0t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	
産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物		
全処理委託量	0.67t		
優良認定処理業者への処理委託量	0.67t		
再生利用業者への処理委託量	0t		
認定熱回収業者への処理委託量	0t		
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t		
(これまでに実施した取組) インターネット等のより産業廃棄物に関する情報を入手			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙参照		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全処理委託量	1000t	100t
	優良認定処理業者への処理委託量	0t	0t
	再生利用業者への処理委託量	1000t	100t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス・陶磁器類
	全処理委託量	5 t	10t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	10t	3t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	水銀使用製品	繊維くず
	全処理委託量	1t	1t
	優良認定処理業者への処理委託量	1t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	1t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	がれき類(アスベスト含有)	廃石綿
	全処理委託量	0.05t	0.5t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	優再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

(これまでに実施した取組)

インターネット等のより産業廃棄物に関する情報を入手

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによる減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。